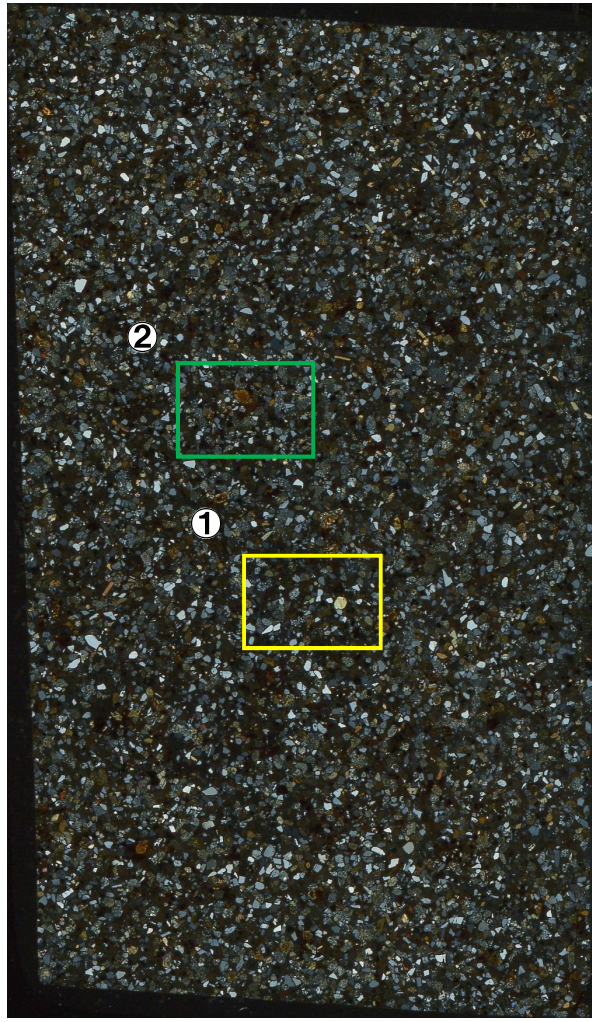


(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-1-4 (2/2) -

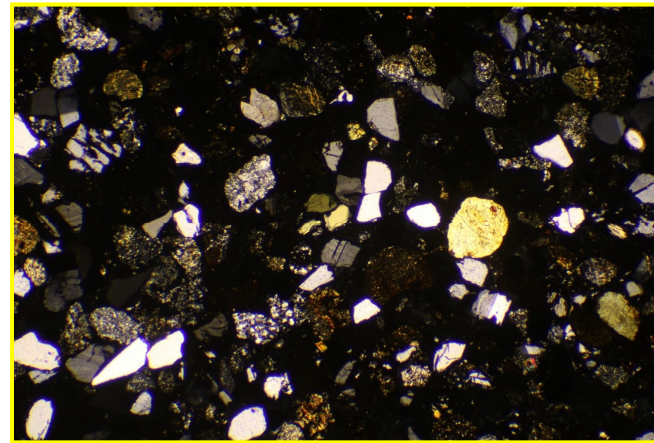
再掲 (R2/8/7審査会合)



クロスニ科尔

10mm

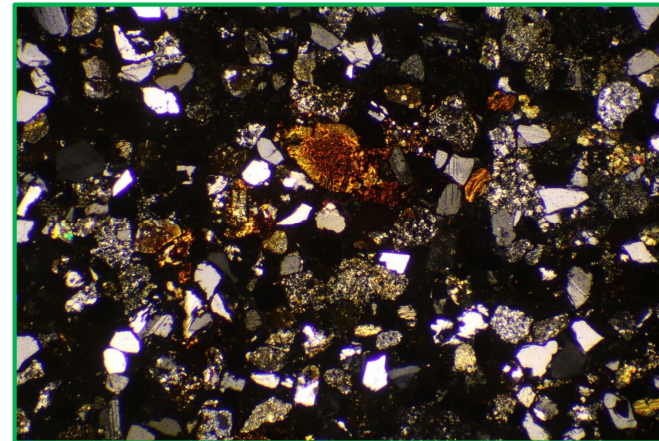
<拡大写真①>



クロスニ科尔

1mm

<拡大写真②>



クロスニ科尔

1mm

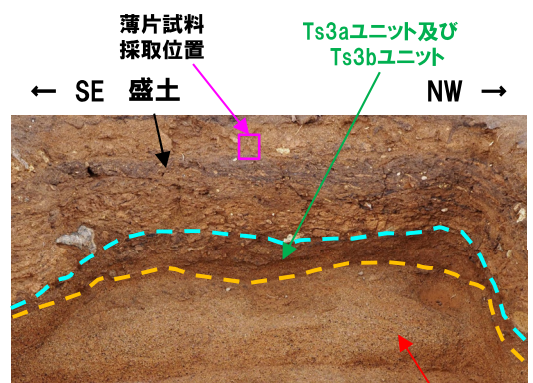
(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-3-1(1/2) -

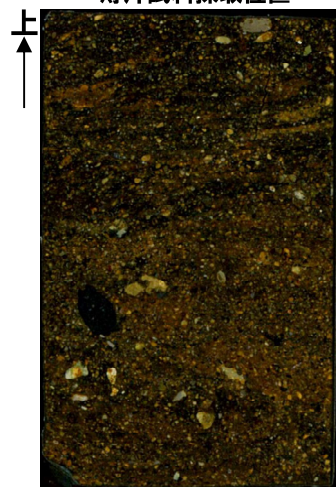
一部修正 (R2/8/7審査会合)

【SKB-TW-3-1(盛土)】

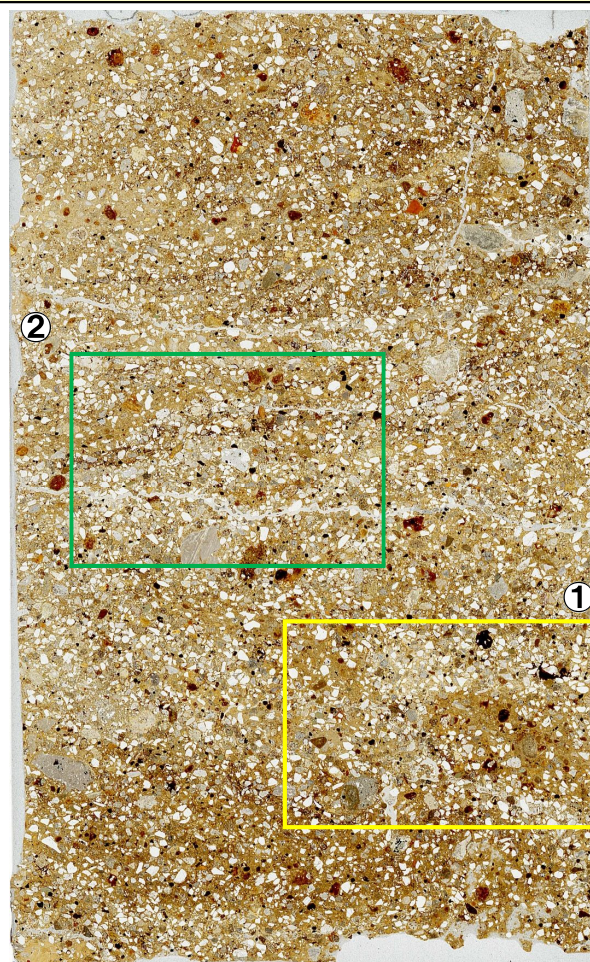
- 褐灰色～黄褐灰色を呈する粘土鉱物が薄片試料全体に多く認められるが、局所的に卓越して多い箇所(拡大写真①)が認められる。角ばった砂粒径の碎屑物が認められ、また細礫サイズの流紋岩やデイサイトの亜角～円礫が混じる。
- 水平方向に連続する空隙が数条認められ、薄片試料内を横断し、露頭観察及びはぎとり転写試料観察において認められる特徴(亀裂が発達する)と調和的である(拡大写真②)。



側溝設置跡(海側壁面) 薄片試料採取位置



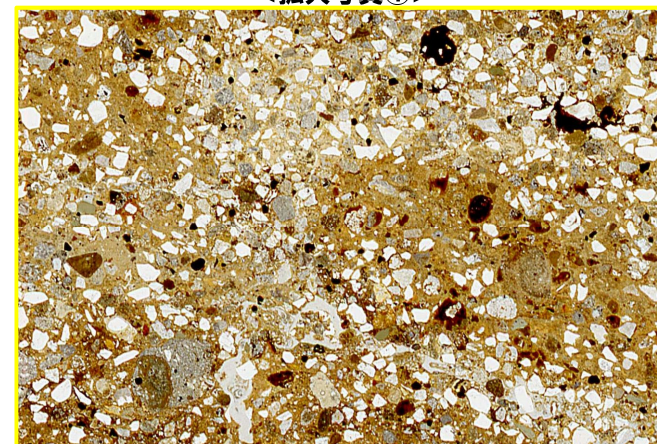
研磨片写真(左右反転)



オープンニコル

10mm

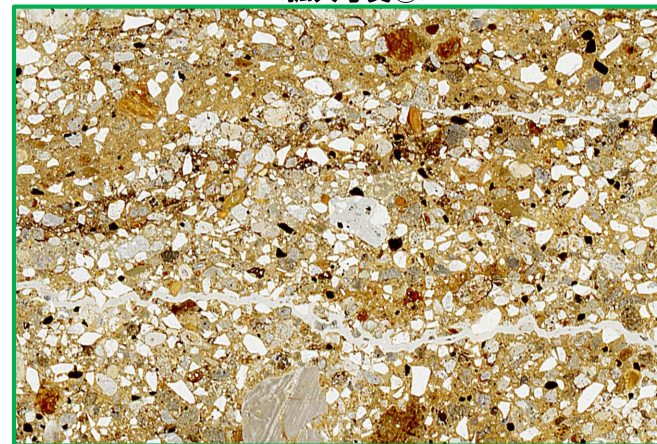
<拡大写真①>



オープンニコル

2mm

<拡大写真②>



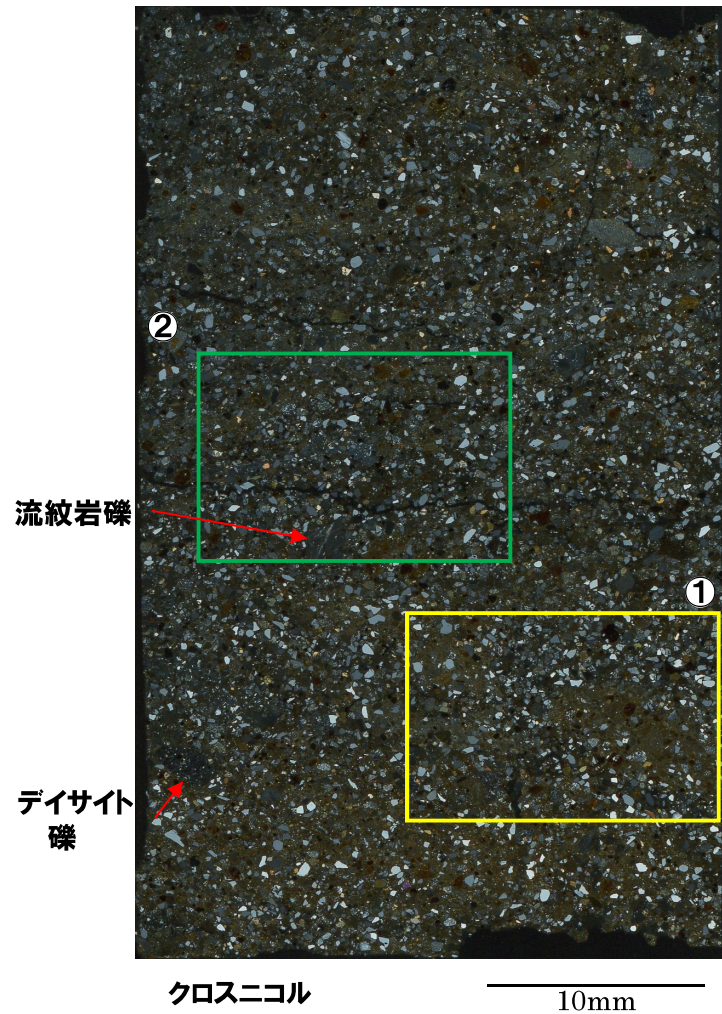
オープンニコル

2mm

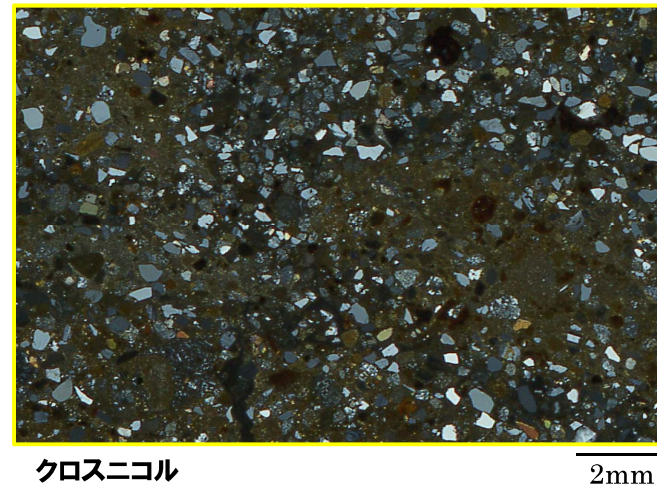
(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-3-1 (2/2) -

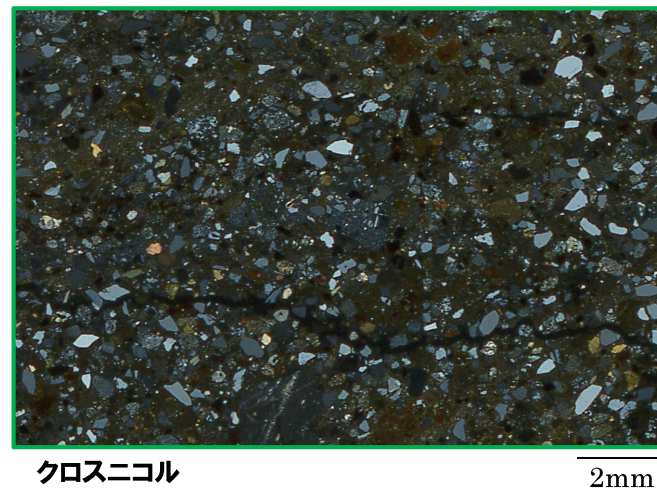
再掲 (R2/8/7審査会合)



<拡大写真①>



<拡大写真②>



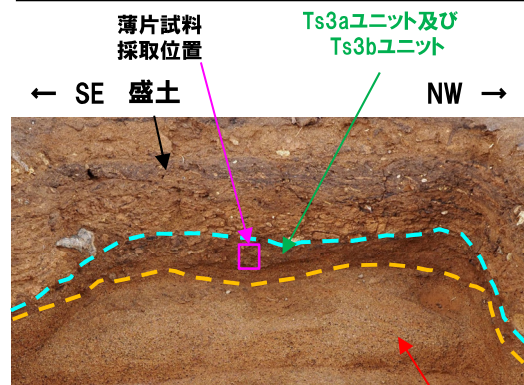
(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-3-2(1/2) -

一部修正 (R2/8/7審査会合)

【SKB-TW-3-2 (Ts3bユニット)】

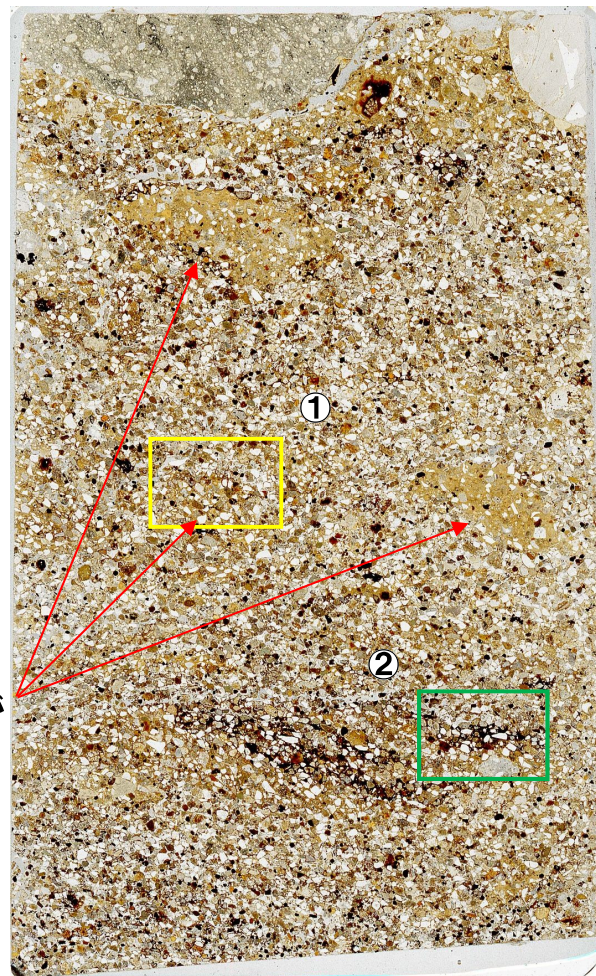
- 角ばった砂粒径の碎屑物を主体とし、丸みを帯びた砂粒径の碎屑物が少量混じる。粒子間に粘土鉱物及び泥粒径の碎屑物が認められ、局所的に濃集する(拡大写真①)。
- 旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来の亜円礫及び流紋岩の円礫が認められる。
- 粒子の縁及び粒子間に酸化鉄の沈着(拡大写真②)が認められる。



側溝設置跡(海側壁面) 薄片試料採取位置 M1ユニット



研磨片写真(左右反転) 10mm

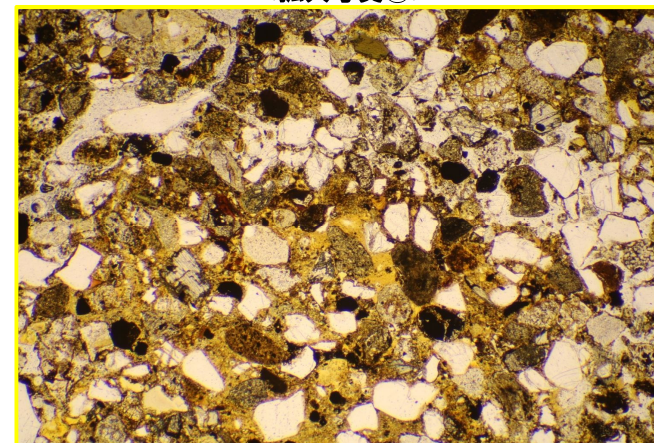


粘土
鉱物が
濃集

オープンニコル

10mm

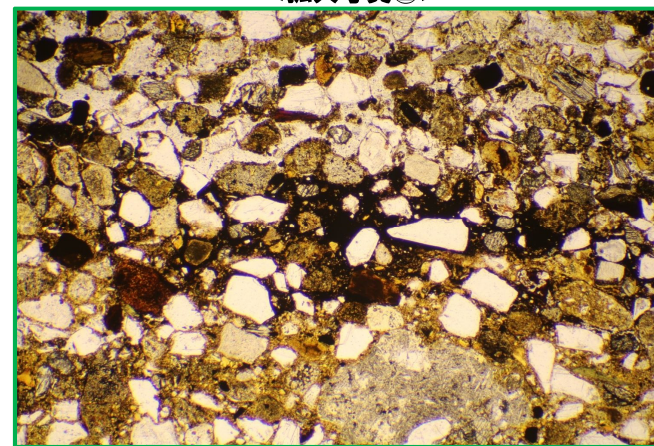
<拡大写真①>



オープンニコル

1mm

<拡大写真②>



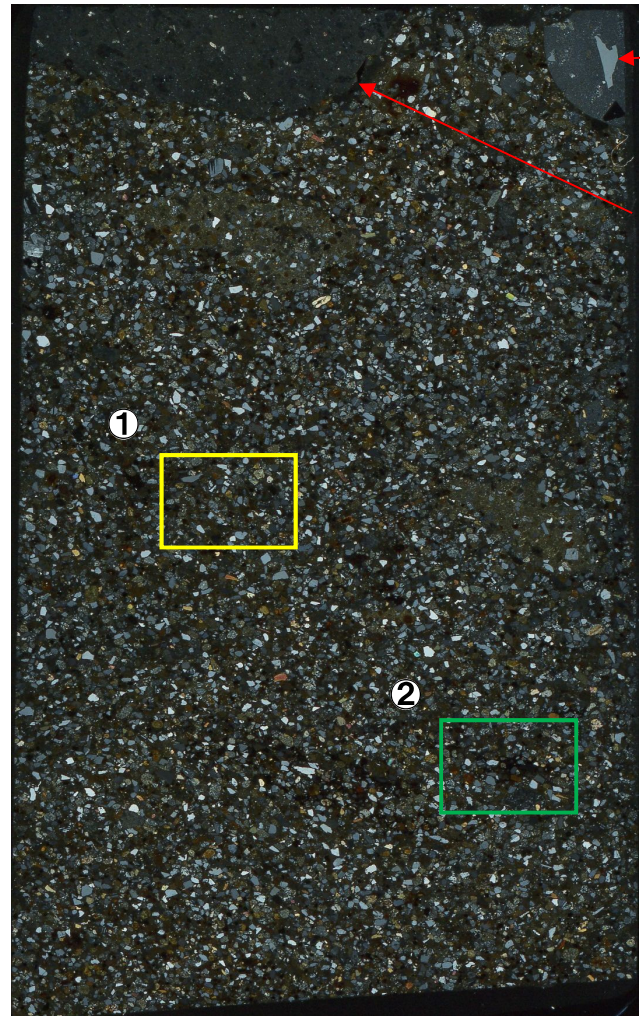
オープンニコル

1mm

(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-3-2 (2/2) -

再掲 (R2/8/7審査会合)



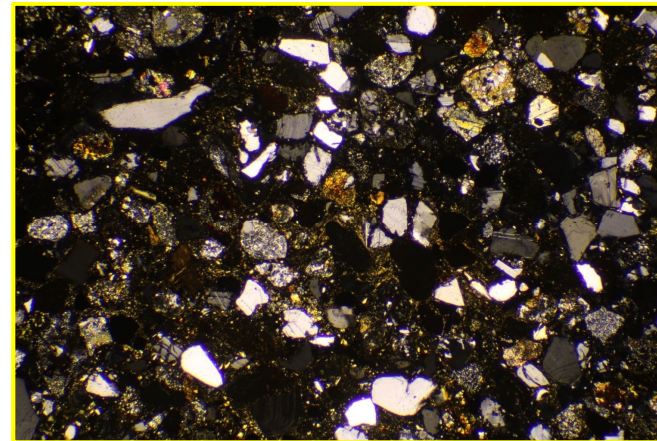
クロスニコル

10mm

流紋岩礫

火山礫
凝灰岩礫

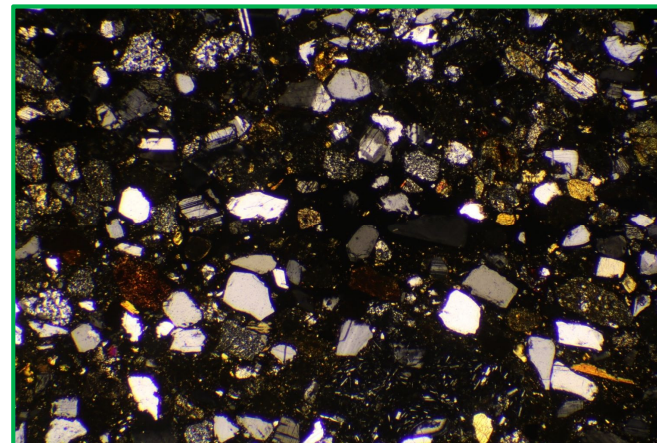
<拡大写真①>



クロスニコル

1mm

<拡大写真②>



クロスニコル

1mm

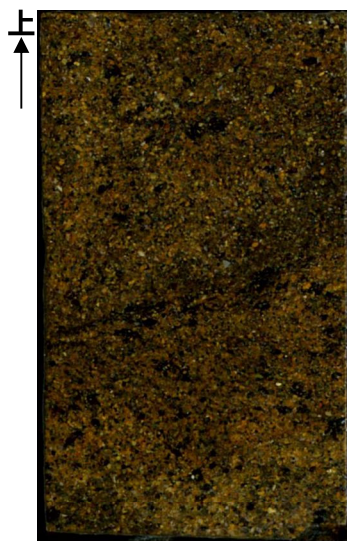
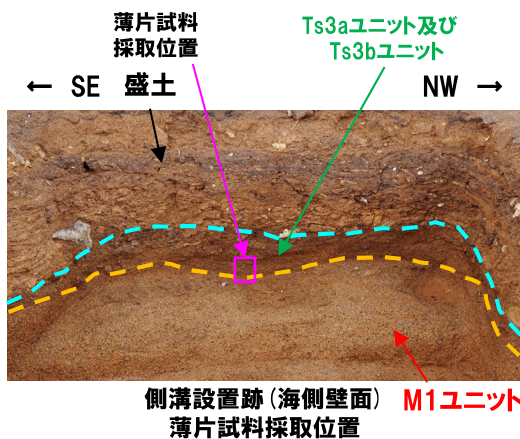
(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-3-3(1/2) -

一部修正 (R2/8/7審査会合)

【SKB-TW-3-3 (Ts3aユニット)】

○丸みを帯びた砂粒径の碎屑物を主体とし、角ばった砂粒径の碎屑物が少量混じる。粒子間に少量の泥粒径の碎屑物及び粘土鉱物が認められる(拡大写真①及び②)。

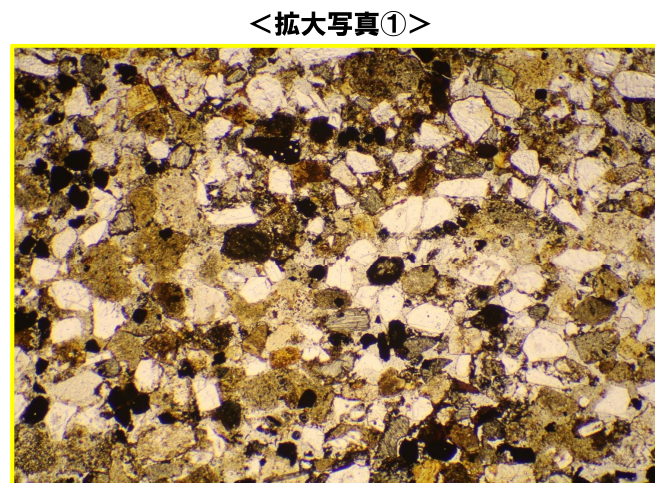


研磨片写真(左右反転)
10mm



オープンニコル

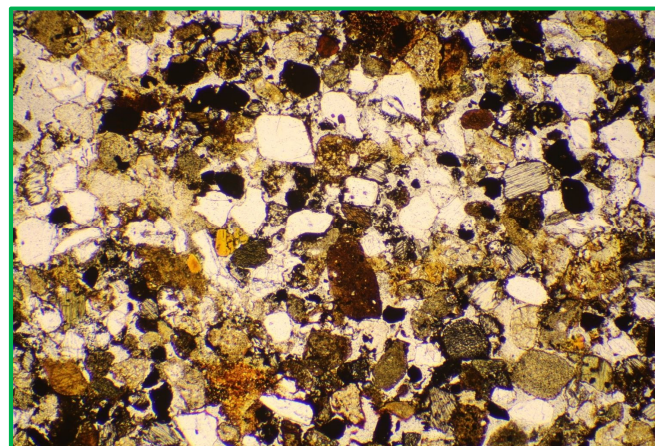
10mm



<拡大写真①>

オープンニコル

1mm



<拡大写真②>

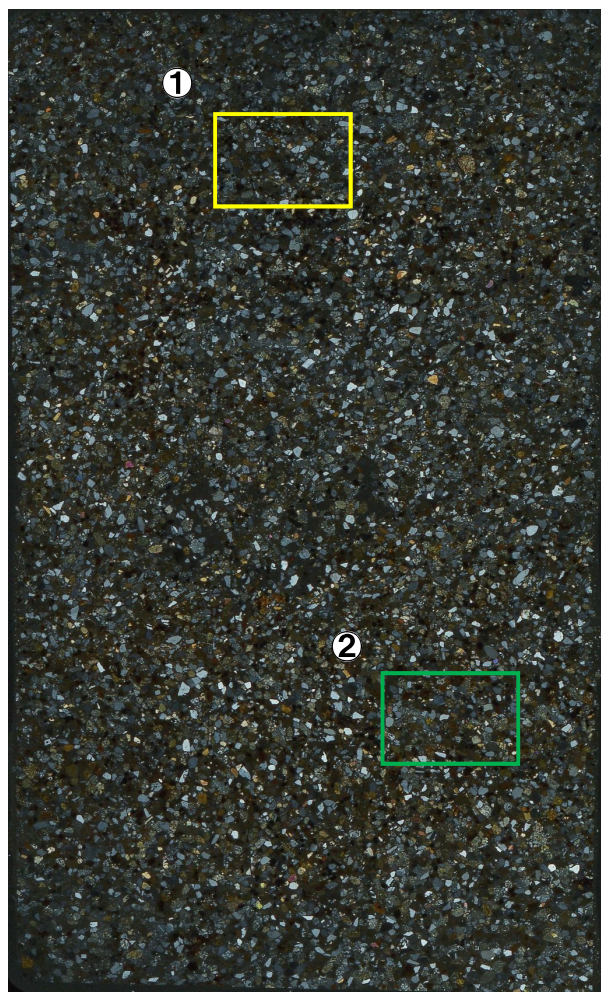
オープンニコル

1mm

(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-3-3(2/2) -

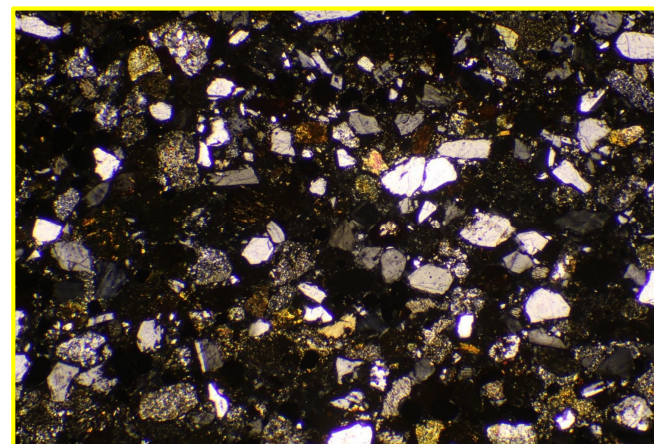
再掲(R2/8/7審査会合)



クロスニコル

10mm

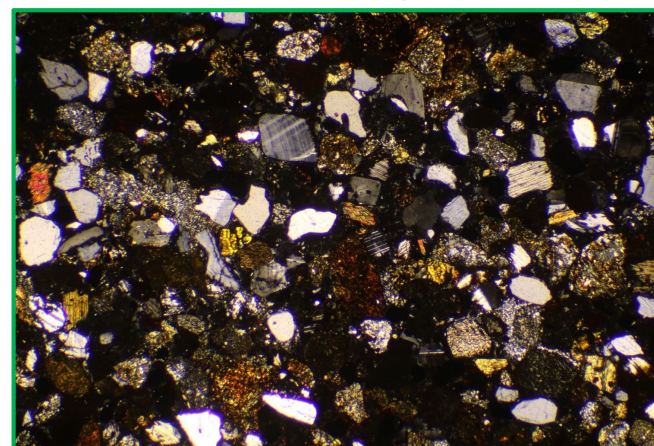
<拡大写真①>



クロスニコル

1mm

<拡大写真②>



クロスニコル

1mm

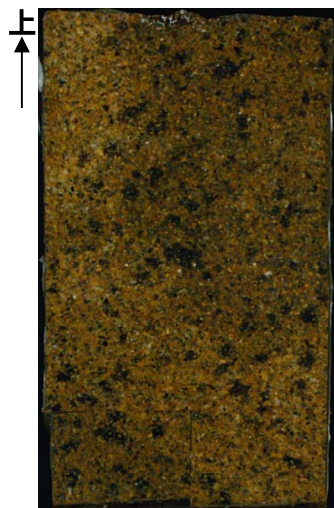
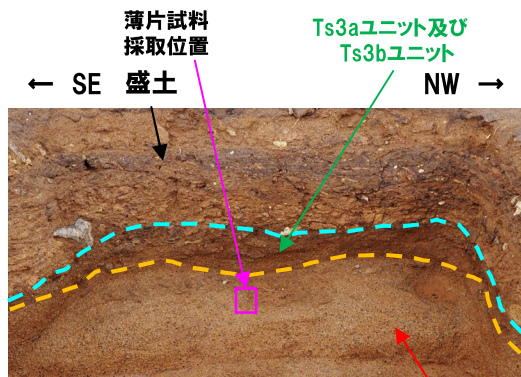
(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-3-4(1/2)-

一部修正(R2/8/7審査会合)

【SKB-TW-3-4(M1ユニット)】

○丸みを帯びた砂粒径の碎屑物を主体とし、粒子の縁に泥粒径の碎屑物がわずかに認められるが、粒子間は空隙となっており粘土鉱物は認められない(拡大写真①及び②)。

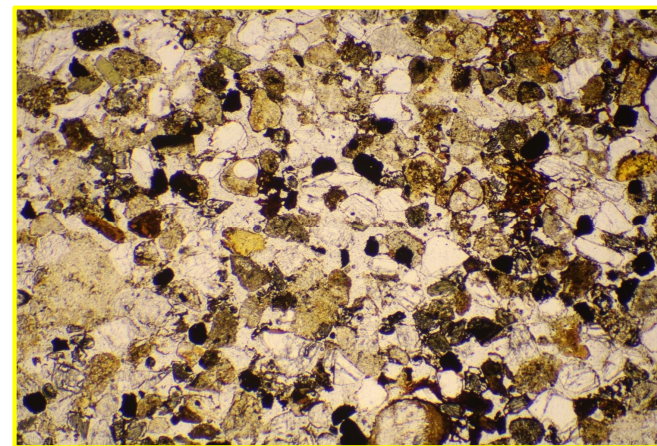


研磨片写真(左右反転)
10mm



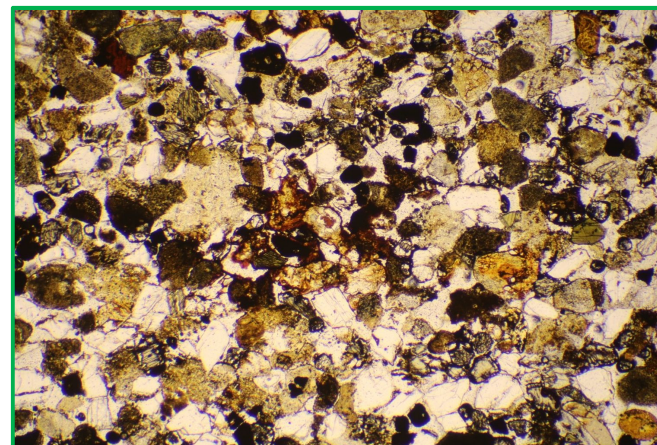
オープンニコル
10mm

<拡大写真①>



オープンニコル
1mm

<拡大写真②>

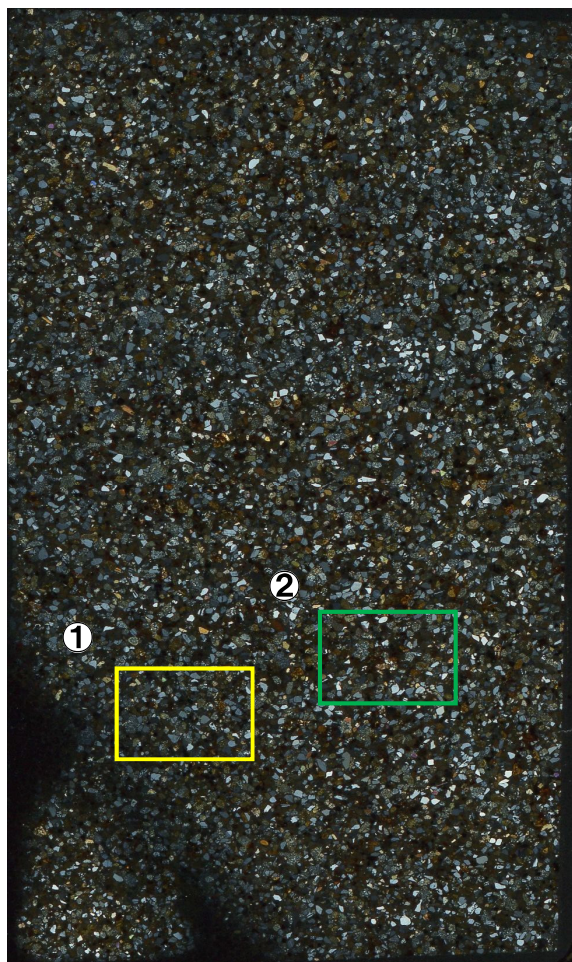


オープンニコル
1mm

(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-3-4 (2/2) -

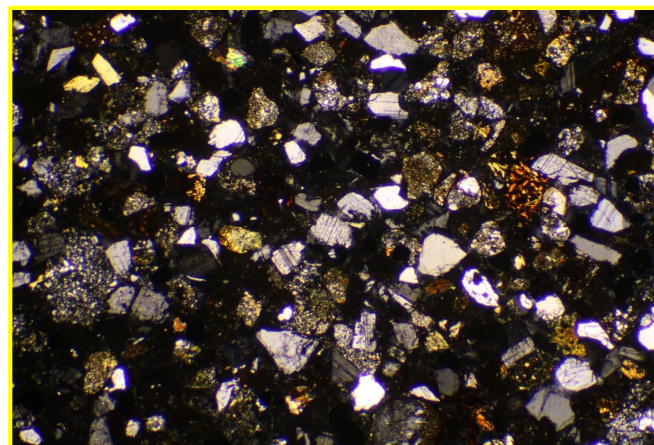
再掲 (R2/8/7審査会合)



クロスニコル

10mm

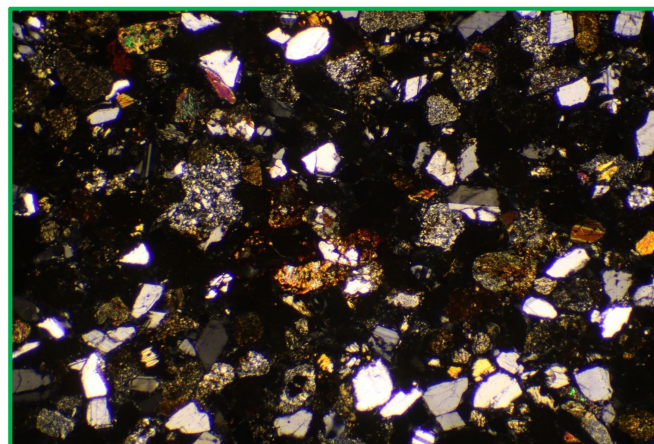
<拡大写真①>



クロスニコル

1mm

<拡大写真②>



クロスニコル

1mm

(1)地層区分及びユニット区分

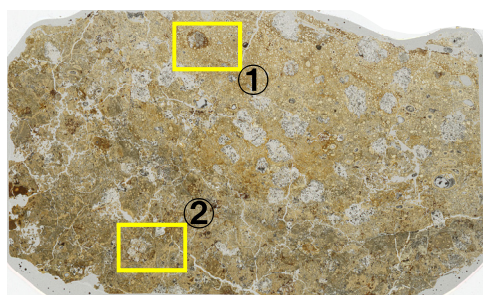
③-2 薄片観察-SKB-4-

一部修正 (R2/4/16審査会合)

【SKB-4 (旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩)】

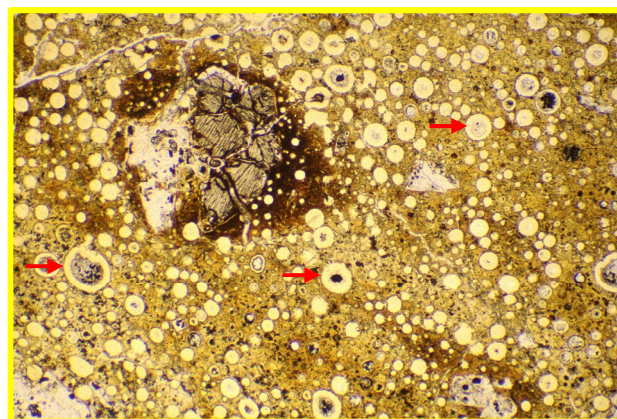
- 火山礫凝灰岩中には、多くの発泡痕が認められ、発泡痕を非晶質なシリカが埋める状況が認められる。
- これらの発泡痕の周辺においては、変質により形成されたと考えられる粘土鉱物が認められる。
- なお、上述の非晶質なシリカ(発泡痕)は、斜面堆積物中に岩片として特徴的に認められることから、「火山礫凝灰岩由来の岩片」と特記している(P264及びP302参照)。

<拡大写真①>



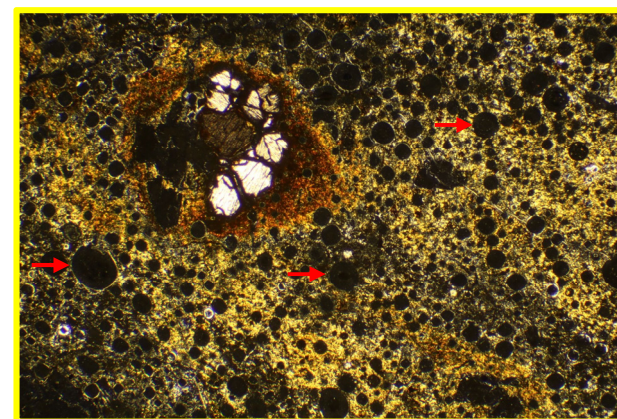
オープンニコル

10mm



オープンニコル

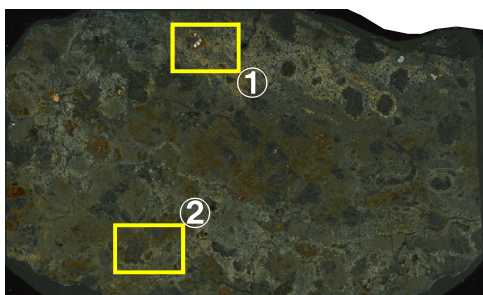
1mm



クロスニコル

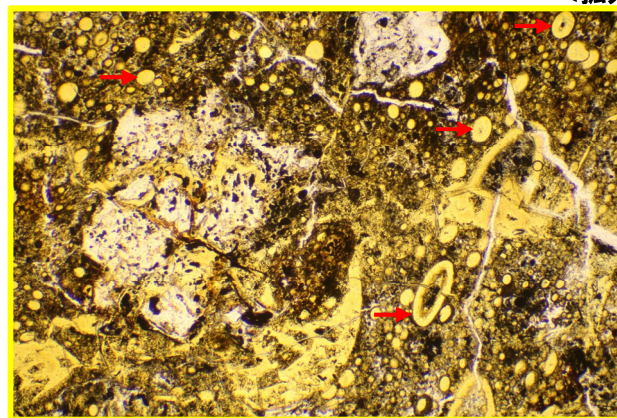
1mm

<拡大写真②>



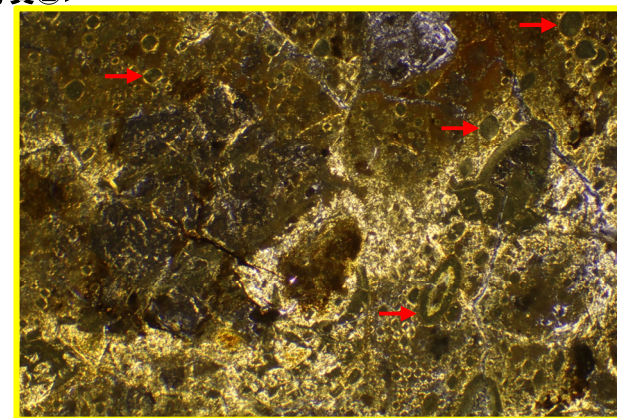
クロスニコル

10mm



オープンニコル

1mm



クロスニコル

1mm

→ : 火山礫凝灰岩中に認められる発泡痕